

# 研修旅行特集



## 研修旅行 特集号

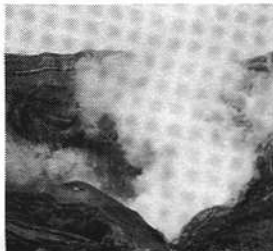
発行 洛星新聞局  
京都市北区小松原南町  
☎ (463) 3281 (代)  
印刷/南片桐軽印刷

### 中学研修旅行

九月二日それぞれに九州への旅に胸を膨らませて、京都駅に集合した。新幹線の窓からは、神戸や広島なども見え、博多からは、かもめ号で長崎に向かった。長崎の国際文化会館では衝撃的な物を見た。初めて原爆によって苦しめられた人々の実態を見た。お母さんのおっぱいを吸いながら焼けただれた顔をしている赤ちゃん、死にかけの子供が水を飲んでる写真など、原爆の悲惨な状況に悔しさを感じた。ホテルに着いてからの被爆者の体験談の中では「もう二度と戦争のない社会を築く為、私たちだけが持っている戦争放棄という宝物を、大切にしたい」と言われた。そこで僕は、戦争のない社会がどれだけ平和であるかを、深く実感した。「第二日」26聖人記念碑を見て、大浦天主堂へ行った。ここでラパディ神父さんがミサをあげられた。やはり、学校でやるのとは違う気がした。そして、グラバー園を通り、四海楼で中華料理を食べた。これがとてもおいしくて長崎が好きになった。それから、市内別荘研修である。僕の班も眼鏡橋、崇福寺など、ほとんど行ったが、さすがに4時間は長く、最後にはばててしまった。長崎駅に着いてから、バスガイドさんのお歌を子守歌に、雲仙へ向かった。「第三日」朝早くホテルから出て、地獄めぐりをした。硫黄のにおいがひどく、流れるのは熱湯、空気は臭くて、まさしく地獄そのものだった。そして鳥居で船に乗り、熊本へ行った。熊本の三角からは、またバスに乗り阿蘇へ向かった。僕は、いろんな人から阿蘇は良かったと聞いていたが、本当に興奮していた。三角港からは、二時間以上かかったが、とても短く感じた。バスは、中岳の山麓でストップした。そこから頂上まで歩いた。天気もよく、阿蘇の全景を見渡す事ができた。頂上には多くの人々がいて、アベックも、がけつづきのぎりぎりまで行って、いちやついていた。そして変なおじさんが、写真を売りつけ、つい買ってしまった。そして下山して、草千里に行った。そこは広い野原で、牛の糞さえなければ、最高の所だった。「第四日」竹田岡城跡で、上まで登り荒城の月を合唱した。その声は天高く青い空に吸い込まれていった。それから、あの有名な臼杵の石仏を見に行つた。やはり、写真をとる人は多く、本当に変わった人さんだった。そこで昼食をとり、風連鍾乳洞に向かった。こんな所は行った事がなかった。興味しんしんで洞窟に入った。中は涼しく、自然がつくった見事な光景だった。それから別府までの間、バスガイドさんにお別れのセレモニーをして船に乗った。僕たちは、出港する時にガイドさんにテープを投げて印象的なお別れをした。そして生徒は皆、無事に帰った。

九月二日それぞれに九州への旅に胸を膨らませて、京都駅に集合した。新幹線の窓からは、神戸や広島なども見え、博多からは、かもめ号で長崎に向かった。長崎の国際文化会館では衝撃的な物を見た。初めて原爆によって苦しめられた人々の実態を見た。お母さんのおっぱいを吸いながら焼けただれた顔をしている赤ちゃん、死にかけの子供が水を飲んでる写真など、原爆の悲惨な状況に悔しさを感じた。ホテルに着いてからの被爆者の体験談の中では「もう二度と戦争のない社会を築く為、私たちだけが持っている戦争放棄という宝物を、大切にしたい」と言われた。そこで僕は、戦争のない社会がどれだけ平和であるかを、深く実感した。「第二日」26聖人記念碑を見て、大浦天主堂へ行った。ここでラパディ神父さんがミサをあげられた。やはり、学校でやるのとは違う気がした。そして、グラバー園を通り、四海楼で中華料理を食べた。これがとてもおいしくて長崎が好きになった。それから、市内別荘研修である。僕の班も眼鏡橋、崇福寺など、ほとんど行ったが、さすがに4時間は長く、最後にはばててしまった。長崎駅に着いてから、バスガイドさんのお歌を子守歌に、雲仙へ向かった。「第三日」朝早くホテルから出て、地獄めぐりをした。硫黄のにおいがひどく、流れるのは熱湯、空気は臭くて、まさしく地獄そのものだった。そして鳥居で船に乗り、熊本へ行った。熊本の三角からは、またバスに乗り阿蘇へ向かった。僕は、いろんな人から阿蘇は良かったと聞いていたが、本当に興奮していた。三角港からは、二時間以上かかったが、とても短く感じた。バスは、中岳の山麓でストップした。そこから頂上まで歩いた。天気もよく、阿蘇の全景を見渡す事ができた。頂上には多くの人々がいて、アベックも、がけつづきのぎりぎりまで行って、いちやついていた。そして変なおじさんが、写真を売りつけ、つい買ってしまった。そして下山して、草千里に行った。そこは広い野原で、牛の糞さえなければ、最高の所だった。「第四日」竹田岡城跡で、上まで登り荒城の月を合唱した。その声は天高く青い空に吸い込まれていった。それから、あの有名な臼杵の石仏を見に行つた。やはり、写真をとる人は多く、本当に変わった人さんだった。そこで昼食をとり、風連鍾乳洞に向かった。こんな所は行った事がなかった。興味しんしんで洞窟に入った。中は涼しく、自然がつくった見事な光景だった。それから別府までの間、バスガイドさんにお別れのセレモニーをして船に乗った。僕たちは、出港する時にガイドさんにテープを投げて印象的なお別れをした。そして生徒は皆、無事に帰った。

M3D川北 篤君



自衛隊のおかげで北海道は日本一公務員が多い都道府県だそうだ。抜いても抜いてもまだ走っている。

六日目は別荘で一日自由。でも行き先が似ていて結構洛星の生徒に出会う。

お別れ  
とうとう北海道の最終日となつてしまった。こうなると、船でゆっくり帰れるのはむしろ嬉しい気がする。恒例、乗務員さんとの涙の別れ。感極まって連転手さんを胸上げる光景も。ガイドさんもやるのかと思つたがしなかった。良識ある男子校生なのだろう。

帰りの船はいたって快適。圧倒的多数のリュックで岸根先生が救命胴衣の実演をされた。午前四時に乗船して次の日の午後五時に舞鶴入港。観光バスで京都入りし、市内要所で途中下車して帰路に着いた。北海道の広大さと自然にただ然然とし、今までの価値感の揺らぐ思いのした旅行であつた。北海道は良かった。

▼最近の話題の本の一冊に「サラダ記念日」がある。どこかふつうの短歌とは違い、私達にも作れそうな作品も多い。しかし、佳作とすると、これがなかなか難しい。やはり著者独特の感性のなせる技なのだろう。▼新しいものの出現は様々な反響を呼ぶのでおもしろい。独自の手法で書かれた本や今までになかった考え方に触れると、これまで味わったことのない感じがする。そしてその新しいものが一過性のものでなく、何かに裏打ちされたものであれば、長い時間がかかるかもしれないが、それは人の心を捉える。▼歴史を振り返ってみると、そんな事がよくある。一般には信じられていないことを正しいと主張したり、いつかわかってくる人が出てくるだろうと信じて、自分を貫いた人がたくさんいる。そういう人は、他人が何気なく言った言葉や、自分の素朴な疑問に注目した。そして先入観や偏見にとらわれなかった。こういう人々が文明を発展させてきたのだ。▼また彼らには強さがあった。正しいことを信じて、他人の批判や自分が少数派であることにめげなかった。異端派であっても、ものごとの本質をつかんだ者は強いのだ。少数派や異端派の疑問や発想に耳を傾けることが、よりよいものを作ることに通じるときがあるのは、このためではないだろうか。▼健全な人はそういう耳を持っている。他人の言葉に耳を傾け、自分を謙虚に見直すことのできる人である。自分の自尊心が大いに傷つけられても、普遍的に正しいことを受け入れ、自分の誤りを直す。それは自分をより成長させるためであり、人間としての自尊心に重きを置くからであらう。▼今、私達がそういう態度で自分を成長させることが、大切ではなからうか。

### フोटストーリー 高校研修旅行

乗船  
午後二時に仙台に着き半日観光バスで市内観光。伊達政宗の像をじっくりカメラに収めていたのは今どきの高校生とも思えなかった。日も落ちた夜七時、仙台港からいよいよ東日本フェリーに乗船、八時出港。

上陸  
京都を出て一日半。ようやく北海道の土を踏む。これから六日間お世話になるバスの乗務員さんとも対面し旅行への期待がふくらむ。

三日目、美幌峠への山道で突然二台車のトラックが開き生徒の荷物散乱するハプニングが起こった。

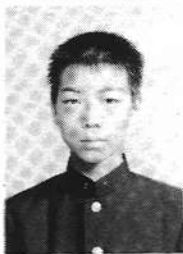
「山があるから登るのさ」とある登山家は言ったが、のどをやられ、目をやられながらも何もない所なのにひたすら登る。硫黄山にて。

衣笠  
▼最近の話題の本の一冊に「サラダ記念日」がある。どこかふつうの短歌とは違い、私達にも作れそうな作品も多い。しかし、佳作とすると、これがなかなか難しい。やはり著者独特の感性のなせる技なのだろう。▼新しいものの出現は様々な反響を呼ぶのでおもしろい。独自の手法で書かれた本や今までになかった考え方に触れると、これまで味わったことのない感じがする。そしてその新しいものが一過性のものでなく、何かに裏打ちされたものであれば、長い時間がかかるかもしれないが、それは人の心を捉える。▼歴史を振り返ってみると、そんな事がよくある。一般には信じられていないことを正しいと主張したり、いつかわかってくる人が出てくるだろうと信じて、自分を貫いた人がたくさんいる。そういう人は、他人が何気なく言った言葉や、自分の素朴な疑問に注目した。そして先入観や偏見にとらわれなかった。こういう人々が文明を発展させてきたのだ。▼また彼らには強さがあった。正しいことを信じて、他人の批判や自分が少数派であることにめげなかった。異端派であっても、ものごとの本質をつかんだ者は強いのだ。少数派や異端派の疑問や発想に耳を傾けることが、よりよいものを作ることに通じるときがあるのは、このためではないだろうか。▼健全な人はそういう耳を持っている。他人の言葉に耳を傾け、自分を謙虚に見直すことのできる人である。自分の自尊心が大いに傷つけられても、普遍的に正しいことを受け入れ、自分の誤りを直す。それは自分をより成長させるためであり、人間としての自尊心に重きを置くからであらう。▼今、私達がそういう態度で自分を成長させることが、大切ではなからうか。



# アメリカで暮らして

MID 児島 賢



僕は、昨年の八月から一年間、アメリカ合衆国、ワシントン州にあるシアトルに行ってきた。理由は父が交換教授としてワシントン大学に行ったためです。

僕は、昨年八月から一年間、アメリカ合衆国、ワシントン州にあるシアトルに行ってきた。理由は父が交換教授としてワシントン大学に行ったためです。

成田空港を飛び立って、約8時間、シアトル・タコマ国際空港に到着。そこから車で、シアトルの中心部に向かいます。車の窓から見た広いボーイングのフールドビルを、片道四車線の高速道路、自然が残っている町並み、どれをとっても、こころみとした日本の都市では感じられませんでした。町の中で印象に残ったのは、一九六二年の万博のシ

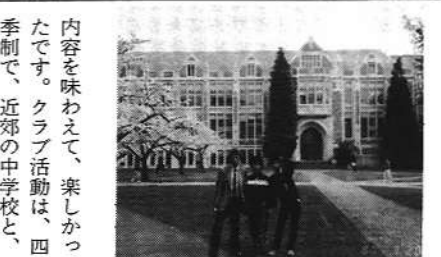
ンボルであるスペース・ニードルで、高さ一八五メートルあるこのタワーの展望台からは、市内を三六〇度眺望でき大変すばらしいものでした。また、市民の市場として親しまれているパイック・ブレース・マーケットでは、キングサーモン、ロブスターなどをはじめ、新鮮な魚介類が豊富にありました。果物では、オレンジ、リンゴ、ブドウなどは、ほぼ一年中所せましと並んでいました。僕は、月に二度くらいはそこに行き、日本の市場のふんいきを味わい、週に二、三度は、二十四時間開き、日用雑貨から食料品まで揃うスーパー



授業はもう英語。最初は、英語がほとんどわからなかったのですが、大変心配していたのですが、前期はESLという英語を第二外国語として入る人だけの、10人位のクラスが二時間ある他には、美術、体育、数学などの授業だったので、なんとかついていきました。ESLのレベルは、中一程度ですが、日本とは違い、アクセントや発音に重点をおいて、少しでも違うと、先生が手とり足とり教えてくださり、おかげで滞在中に、発音の方は大分上達しました。後期(一月)に入る頃には、英語にも慣れ、先生や友達との話が大体分かるようになりました。授業も、ESLクラスの他にも理科、社会などのクラスがあり、難しい単語が、たくさんでてきてしんどかったです。チェルノブイリ原発事故の問題や、人工呼吸のしかたなど変わった授業もあり、一味違う授業

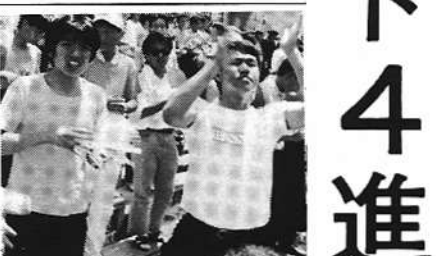
マーケットで買物を楽しみました。値段は、野菜、果物が日本の半値、牛乳、肉は四分の一と安く、品数も豊富なので、たっぷり食べられ、うれしかったです。母は日本へ帰って来て値段の高さにとまどいを感じたそうです。

授業はもう英語。最初は、英語がほとんどわからなかったのですが、大変心配していたのですが、前期はESLという英語を第二外国語として入る人だけの、10人位のクラスが二時間ある他には、美術、体育、数学などの授業だったので、なんとかついていきました。ESLのレベルは、中一程度ですが、日本とは違い、アクセントや発音に重点をおいて、少しでも違うと、先生が手とり足とり教えてくださり、おかげで滞在中に、発音の方は大分上達しました。後期(一月)に入る頃には、英語にも慣れ、先生や友達との話が大体分かるようになりました。授業も、ESLクラスの他にも理科、社会などのクラスがあり、難しい単語が、たくさんでてきてしんどかったです。チェルノブイリ原発事故の問題や、人工呼吸のしかたなど変わった授業もあり、一味違う授業



内容を味わえて、楽しかったです。クラブ活動は、四季制で、近郊の中学校と、週に一度ぐらいの割合で、試合があり、点数を競いあいつつ、友好を深めました。一年間アメリカに滞在して僕は、この一年間で、色々な人と友達になれ、日本では味わえない雄大な自然と接することができ、大変充実した一年間でした。この体験をいかして、日本でも頑張りたいと思います。皆様もぜひ、一度行ってみたいかがですか。

た。一年生の時からマウンドに上がっている今西は、ピッチに強く、抜群の制球力と頭腦的な配球で、5試合を一人で投げぬいた。全試合で相手に許した得点が3点という素晴らしい内容で常にきびきびと引き締まったプレーをしてくれた。



今西信隆(投手) 黒田 実(内野手) 江原 出(内野手) 中野雄介(内野手) 中道 誠(内野手) 堀 裕一(外野手) 大井 亮(外野手) 荒木俊博(外野手)

今年の夏、洛星は4年ぶり3回目のベスト4入りを果たした。その熱戦の跡は

対平安 一〇〇 対亀岡 七〇 対南丹 四一 対立命館 四一 対北陸 〇一

今年の洛星は、京都屈指の好投手今西を中心に、よくまとまったチームであった。



大イ研の友達

## 局 説

入学した当初、校内のあちこちにゴミがちらばっていた。廊下にびっけりした。廊下の隅や階段の両脇にため

入る。あるいはサボる。こんなことを書いてある筆者も掃除をさぼったことがある。二人しか担当の必要のない掃除場所、相棒が帰

る週を美化週間として、掃除を徹底させるのいいと思う。洛星はプラザや用務の方々が陰となり日なたとなり、いろいろなことを

昭和62年9月20日、かつて「社会現象」とまで呼ばれた空前の大ブームを巻き起こした、かの「おニャン子クラブ」がついに解散した。

彼女たちに関しては様々な批判もあるだろうが、これだけの偉大な記録を残した、かの「おニャン子クラブ」がついに解散した。

風当たりが強かったのも事実である。

開話休題。流行やブームというのは、普通自然に発生するように見えるが、先述の通り常にその裏にはプロの策略がある。しかしその策略のために流行の周期が短くなっている。

また、それらのめぐるしい変化について行こうとするために、若者が流行に過敏になっている。またそれは流行に流されて本心に自分が必要としているものを見落としてしまう危険がある。ともいえるであろう。

さて、ある雑誌の投稿欄に次のような投稿があった。みなさんはどのようにお考えになるだろうか?

「(前略) おニャン子を着した他のTV番組(例えば「ザ・ベストテン」)に夕焼けニャン子が出ている人達が、事務所の手渡ったたんランキン

「(前略) おニャン子を着した他のTV番組(例えば「ザ・ベストテン」)に夕焼けニャン子が出ている人達が、事務所の手渡ったたんランキン

## 話のくずかご 11

おニャン子クラブ

彼女たちに関しては様々な批判もあるだろうが、これだけの偉大な記録を残した、かの「おニャン子クラブ」がついに解散した。

風当たりが強かったのも事実である。

開話休題。流行やブームというのは、普通自然に発生するように見えるが、先述の通り常にその裏にはプロの策略がある。しかしその策略のために流行の周期が短くなっている。

また、それらのめぐるしい変化について行こうとするために、若者が流行に過敏になっている。またそれは流行に流されて本心に自分が必要としているものを見落としてしまう危険がある。ともいえるであろう。

さて、ある雑誌の投稿欄に次のような投稿があった。みなさんはどのようにお考えになるだろうか?

「(前略) おニャン子を着した他のTV番組(例えば「ザ・ベストテン」)に夕焼けニャン子が出ている人達が、事務所の手渡ったたんランキン

「(前略) おニャン子を着した他のTV番組(例えば「ザ・ベストテン」)に夕焼けニャン子が出ている人達が、事務所の手渡ったたんランキン

まず、掃除を徹底的にすることが大切だ。洛星ではクラスの半数ぐらいしか掃除の時間があたらない掃除の時間が特別にうけられ

ていない。掃除担当は、部活に行く者、帰宅する者を横目に、イヤイヤ掃除をする。そして適当に掃除を終

る。あるいはサボる。こんなことを書いてある筆者も掃除をさぼったことがある。二人しか担当の必要のない掃除場所、相棒が帰

昭和62年9月20日、かつて「社会現象」とまで呼ばれた空前の大ブームを巻き起こした、かの「おニャン子クラブ」がついに解散した。

彼女たちに関しては様々な批判もあるだろうが、これだけの偉大な記録を残した、かの「おニャン子クラブ」がついに解散した。

風当たりが強かったのも事実である。

開話休題。流行やブームというのは、普通自然に発生するように見えるが、先述の通り常にその裏にはプロの策略がある。しかしその策略のために流行の周期が短くなっている。

また、それらのめぐるしい変化について行こうとするために、若者が流行に過敏になっている。またそれは流行に流されて本心に自分が必要としているものを見落としてしまう危険がある。ともいえるであろう。

さて、ある雑誌の投稿欄に次のような投稿があった。みなさんはどのようにお考えになるだろうか?

「(前略) おニャン子を着した他のTV番組(例えば「ザ・ベストテン」)に夕焼けニャン子が出ている人達が、事務所の手渡ったたんランキン

「(前略) おニャン子を着した他のTV番組(例えば「ザ・ベストテン」)に夕焼けニャン子が出ている人達が、事務所の手渡ったたんランキン

# 局員募集



編集後記

大イ研の友達

大イ研の友達